

令和6年度 福島県働き方改革モデルづくり事業



株式会社 和泉電機

会社概要

社名	株式会社 和泉電機
所在地	福島県南会津郡南会津町和泉田字谷地2422-1
設立	1981年 4月 1日
従業員数	男性 17人 女性 2人
業務内容	電気工事業
経営理念	常に新しい技術を導入し、新しい発想で未来を想像し、電気部門において持続的に進歩・発展する会社を目指します。 電気工事における新しい利益性を求め、会社の発展とともに、従業員のニーズを捉えたワークバランスを実現し、働きやすい会社を目指します。



取り組みのきっかけと目標

1. サブコンとして2024年問題に対応するため取り組んできたが、専門性の高い仕事であることから個々人のスキルに偏りが発生し、現場業務のため相談できるタイミングを作るのが難しかった。
2. 直行直帰の現場もあるため情報の共有とコンセンサスに課題があり、業務の偏りや移動距離に時間が取られるなどの課題があった。
3. 部材・機器の収納、高所作業車等の使用ルールが漠然としており、状況確認や探し物に時間がかかるため作業効率に課題を感じていた。

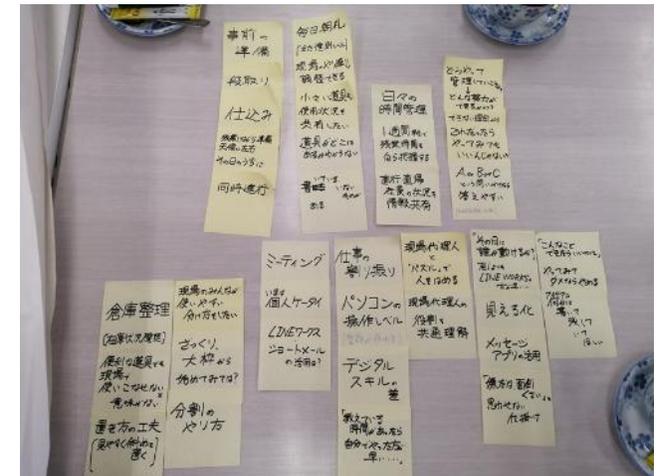
以上のことから、2つの目標に向けて取り組みをスタート

コミュニケーションの質を高めて
情報の全体共有を行い
柔軟に対応できる組織を構築する

作業効率を高め
働きやすいと実感できる環境を作る

取り組み内容

1. 現場常駐の社員も多く存在するため、オンタイムでの情報共有方法としてショートメールやSNSの活用を検討。セキュリティ・費用・利便性の視点から情報を収集し、試験的に運用を開始。
2. 遠方で作業中であっても長距離移動をして顧客対応をすることが多いため、移動時間と作業効率についての対策を検討した。
3. 担当一人で行っていた倉庫整理作業を、チームメンバー全員で仕分け方法やレイアウトの意見交換を行った。100円ショップのレイアウトを参考に、大まかな分類を決めて全体量の把握と位置決めについて検討を重ねた。



取り組み成果

1. コミュニケーション強化のため試験的にSNSの運用を開始。まずは情報発信からスタートし、直行直帰の社員へもオンタイムで同じ情報が届けられるようになった。今後は双方向の情報共有強化に向けて運用方法を検討中。
2. SNS運用を開始したことで現場に近い社員に対して仕事依頼ができるようになり、移動時間の無駄を省けるようになった。これに伴い業務の偏りにも軽減傾向が見られ、取り組み継続による時間外労働時間の削減に対する期待が高まった。
3. これまでは倉庫内の部材等定位置の周知が曖昧であったため、探し物にかかる時間に無駄を感じていたが、大まかなレイアウトを決めて図面に落とし込み可視化されたことで、必要な物がすぐに見つけられるようになった。また、配置図面を倉庫内に掲示しSNSでも共有することで、変更が発生した時でも情報共有が可能となった。



取り組みから感じたこと

メンバーの感想

今の働き方について向き合う時間を取ることができ、客観的に今の現状を知ることができました。「移動距離問題」や「一部の人に偏る」という問題点に対して、新たな連絡ツールを活用し、今後も社員みんなで業務改善に取り組みたいと思います。

事務局から

アドバイスを参考にラインワークスの導入を進めることができました。「移動距離問題」では現場に近い社員に対して仕事依頼ができるようになり、残業時間短縮と業務効率化を期待できるようになりました。それに付随して「一部の人への偏り」の解消にもつなげることが可能となりました。貴重なお時間をいただき本当にありがとうございました。

今後に向けて

新たな連絡ツールを発展させていき、業務の効率化及び問題点の解消に向けて継続して取り組めるようにしていきたいと思います。今回の機会を土台とし、考えを見える化する機会を設ける文化を構築していきたいと思います。担当コンサルタントの方に心より感謝申し上げます。